

提供日 2015/8/20
 タイトル 伊豆研究助成決定
 担当 伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局 小柴
 連絡先 TEL 0557-32-1784
 MAIL info@izugeopark.org FAX 0557-35-9108



5 グループ、研究者 10 人に助成

伊豆半島学術研究助成、初めての適用

伊豆半島ジオパーク推進協議会は 20 日、5 つの研究グループ(研究者 10 人)に伊豆半島ジオパーク学術研究支援事業補助金を交付することを決め、通知しました。この補助制度は、伊豆半島を調査、研究しようとする若手研究者(原則 40 歳まで)に最高 20 万円を助成するもので、10 人は同制度の初めての適用となります。

ジオ協は 6 月に募集を開始し、6 つの研究グループから応募がありました。協議会で審査した結果、5 グループが伊豆半島研究に寄与すると認められ採択しました。研究者は、協議会が開催する発表会で研究成果を発表することになっており、学術資料が充実する効果が期待されています。

申請者と研究内容

申請者(申請順)	研究名称、内容
静岡大学大学院総合 科学技術研究科 今井 啓文さん(22)	<u>「手石の弥陀の岩屋」(南伊豆町)に隣接する海食洞内の地質学的調査</u> これまでの研究では、伊豆半島南部の海岸地形や離水した生物遺骸などにより、地震による隆起が繰り返し生じていることが明らかになっている。本研究では、手石湾周辺を対象として測量などの地形調査や生物遺骸の年代測定によって地震性隆起の有無を調査する。
静岡大学理学部地球 科学科講師 石橋 秀巳さん(37) ほか 1 人	<u>伊豆カワゴ平火山(伊豆市)の噴火様式変化の要因の解明</u> 約 3100 年前のカワゴ平火山噴火では、大規模な噴煙や火砕流、溶岩流などを噴出した。本研究では、噴火の各時期における噴出物について、含まれる成分や岩石組織の解析を行い、この噴火におけるマグマの挙動や、噴火様式が変化した要因などについて検討する。
福岡大学国際火山噴 火情報研究所研究員 中西 利典さん(39) ほか 1 人	<u>北伊豆地震時に動いた活断層と動かなかった活断層の極浅部地下構造の比較</u> 1930 年の北伊豆地震では、北伊豆断層帯の広い範囲で地表変位が生じた。姫之湯断層も変位が生じたが、これに並走する活断層では変位が生じなかった。本研究では、変位のあった断層となかった断層両方に対し、掘削調査や地中レーダー探査、採取試料を用いた年代測定などを実施し、断層の性状を検討する。
宇宙航空研究開発機 構 宇宙科学研究所 野口 里奈さん(27)	<u>単成火山におけるマグマ組成と山体形状の関係性の系統化</u> 東伊豆単成火山群には活動年代が明らかになっている多数の単成火山が存在する。これらの火山体の形状と、マグマ組成や形成後の経過時間などの関係を明らかにすることで、アクセス困難な遠隔地や地球外の天体の火山について、形成過程やマグマ組成を推定する手法を得ることを目的とする。デジタル地形データの解析や採取試料の岩石的検討を通じ研究を進める。
岩手県立大学大学院 総合政策研究科博士 後期課程 熊谷 誠さん(35) ほか 3 人	<u>絵画化による被災・復興状況の再現と教育教材としての利用手法の提案</u> 被災体験は時間が経過するに従い、失われていく。本研究は、発災から 85 年が経過した北伊豆地震について、被災体験者へのヒアリングや、既存資料の収集により、被災状況や被災地域での生活の様子を絵画として再現・保存することを目的とする。再現した絵画については、紙芝居など教材としての利用も検討する。

以上